
スマブラatロンドンオリンピック

スマッシュ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

スマブラ a ロンドンオリンピック

【Zマーク】

Z1548BA

【作者名】

スマッシュ

【あらすじ】

これは、マリオ&ソニック a ロンドンオリンピックをしながら書いているので意味不明なところもあるでしょうが見てくださいね！

スマッシュブラザーズと100m走

マリオ「なあ、ルイージ。俺達、マリオキャラとソニックキャラで共演したゲームじゃないか！」

ルイージ「しかも、最近のだよ・・・」

リンク「そうなんですか！？」

ソニック「ああ、そうだ。あれはみんな、以外にもはやかつたな」
マリオ「まあ、ソニックの速さを普通の速さにされていたからな」
クッパ「ウム！これは、かなり大変な競技ばかりだったからな・・・」

ピーチ「ねえ、そろそろ、マスターが来そうなんじゃない？」
ブワーン！

マスター「やあ！」

クレイジー「・・・」

マルス「予想的中だね・・・」

マスター「知つてたのか？」

アイク「みんな、知つてた・・・」

マスター「なら、話が早い！さて、オリンピックの開催する。イギリストのロンドンへ行こう！」

マリオ「ああ・・・また、行くのか、久しぶりだな・・・」

ピーチ「また、買い物できるのね」

マスター「ああ、そうだそうだ！リストラ軍団も来るからなー。」

クレイジー「・・・」

ルイージ「ところでなんでクレイジーが無口なの？」

マスター「ん？クレイジーは人間になるのは嫌がるからな・・・」

クレイジー「・・・」

ゼルダ「早く行きましょう！」

マスター「そうだな！では、行くぞ！」

パチン！ブワーン！

ロンドン
ブワーン！

マスター「来たぞ！」

マリオ「久しぶりのロンドンだー！」

ルイージ「あー、ビックベンがあるよー。この辺りも久しぶりだな！」

リンク「へーー！ここがロンドンですか！」

ピーチ「ええ、そうよ！私達はここでオリンピックをしたわよ！」

マリオ「なあ、マスター！今思つたんだが、マリオキャラとソニッタクって案外強いと思うんだが・・・」

マスター「その辺りは大丈夫だ！では、競技場に行くぞ！」

ロイ「そうだね！」

競技場

マリオ「なんだ！やつぱり、この競技場だつたか！」

マスター「ほとんど全ての競技があるぞ！」

ルイージ「そういうえば、僕達のでは全競技をやつてなかつたね！」

マルス「早くやりましょー！」

マスター「では、今から100m走をするぞー！」

マリオ「8人で走るんだよな！」

マスター「決まつたぞ！」

マリオ ソニック リンク ピカチュウ カービィ フォックス

ヨッシー ルイージ

マリオ「よつしゃー出場だー！」

ルイージ「負けないよー！」

マスター「では、クレイジー！ピストルをやつてくれ！」

クレイジー「・・・・・red eye? GO!」パン！

マスター「おつとー全員スタートダッシュ成功だ！」

マリオ「負けるかー！」

ソニック「今日は負けないぜ！マリオ！」

ルイージ「僕達もだよ！」

ピカチュウ「たのしいなあ！」

リンク「私は短距離より長距離の方が多分いいですね・・・」

カービィ「速く走らないとなあ・・・」

フォックス「走りには自信があるぞ！」

ヨッシー「頑張らないといけないですわ・・・」

マスター「これは接戦だ！」

ゴーリル！

3位はフォックス

2位はルイージ

1位はマリオとソニック！？

ピーチ「あらあら・・・2人が1位ね・・・」

マスター「これはすごい！2人で1位獲得だー！」

クレイジー「・・・これで100m走を終わる・・・」

次回、ハードル走

スマッシュ・娱乐平台（後書き）

この小説……たいへんだな……

110mハードル走（前書き）

マルス「これは難しい競技かもしないな・・・」

110mハードル走

マスター「では、次は110mハードル走をします」

觀客「わ―――つ！」

マリオ（なぜ、観客がいる？）

マスターに出る選手は

マルス アイク ロイ シーク ガノンドロフ クッパー ワリオ

スネーケーだー！」

マルスー・・・・・

アイケー あと4人は・・・

ロイ・おさんだね・・・」

4人でおさんぽうな！」

クレイジー・... REDEYE? GO!「はーん!

マルス「おおおお！」

アイケー、どりやー！」

ケツバ——そら！」

6人 - 何! ?

「いやあ、いかんに出来ると……」

シーケンなんかこんからかるな。。。

がノンエント、あるいはシナリオが出来ぬ状態になってしまった。

琶 痘 尾 一 僕 も 一 し て いく セ ! 二 て 痘 尾 三 て 書 く な 一 ！」

スネーク、あんな奴にも負けるか!とリヤー!

二三

マスター」では8位から1位まで言つていくぞ！」

7位 8位
琶瘡尾 ガノンドロフ
ワリオ

6位
スネーク
5位
シーク
4位
アイク
3位
ロイ
2位
マルス
1位
クッパ！？

マルス「まさか・・・クッパに負けた・・・」
アイク「・・・」

次回、100×4mリレー

100×4ミニマーティン（前書き）

マリオ「これは楽勝な競技だったな・・・」

100×4mリレー

マスター「じゃあ、次の競技に入るぞ！次の競技は100×4mリレーだ！」

出場は1

出場は、テニスノートで「アラシがなしそうだから」6人までだ。

2 リス マルス ロイ カービィ メタナイト
1 リス マリオ ルイージ リンケ ソニック

3 コース アイク シーク デイデイーピーチ

4コース ゼルダ ピカチュウ レッド ネス

この競技はバトンをもつて走るリレーだ！やり方はみんなわかってるはずだ！いいな！」

クレイジー「Set...Ready? GO!」パーン!

「マリオ、イヤッハ!!」

アーヴィング

ゼルダ「それ！」

100 地点

100m地点

ロイ「頑張つてください！」

シーケ「早く来てくれ！」

ヒガチニウ「この虫の速さならしけるかな?」
マリナ「シ、ジ、はー

マルス「ごめん！遅れた！」

アイク「ハイッ！」

ゼルダ「はいっ！」

ルイージ「いえ――つ！」

卷之三

シーケ「ふつ！」

ピカチュウ「ピカチュウーーー！」

200m地点

リンク「ルイージさん…」」つちですよーーー！」

カービィ「速く走つてよーーー！」

ディディー「早くバトンを渡すして！」

レッド「走りには自信があるんですよーーー！」

ルイージ「はいっ！リンク！」

ロイ「はい！」

シーク「ほらつ！」

ピカチュウ「はいっ！」

300m地点

ソニック「遅すぎだぜ！」

メタナイト「本当にそうだ！」

ピーチ「そんな、怒らないで！紅茶でも・・・」

ネス「もううよ！」

ソニック「そんな間ないだろ・・・」

リンク「すみません！遅かつたですか？」

ソニック「大丈夫だぜ！全力で走つてやるからぞーー！」

カービィ「はいっ！メタナイト！」

メタナイト「ウム！」

レッド「一人抜きました！はいっ！ネス君！」

ネス「ありがとう！」

ディディー「ごめん！ピーチ姫！待たせたかな・・・」

ピーチ「大丈夫だからバトンを早く渡してちょうだい！」

ゴーーール！

4位 第3コース

3位 第4コース

2位 第2コース

1位 第1コース

次回、
走り幅跳び

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1548ba/>

スマプラatロンドンオリンピック

2012年1月5日22時45分発行